

# 大腸肛門病センター高野病院 が担う役割について

平成31年3月5日

社会医療法人社団高野会 大腸肛門病センター高野病院

理事長・院長 山田 一隆

## 理念

私たちは常に**5S**を大切にします。

SMILE	笑顔
SERVICE	奉仕の心
STUDY	自己研鑽
SPECIALITY	専門性
SAFETY	安全

## 私たちが目指す大腸肛門病センター高野病院

1. 私たちは社会医療法人の公益性を自覚し、奉仕の精神で大腸肛門及びその関連分野を通し社会に貢献します。
2. 私たちは患者中心の医療を旨とし、高度の専門的レベルをもって診療に臨みます。
3. 私たちは地域住民の健康で豊かな生活を支援するため、積極的に検診（健診）活動、啓発活動を実践します。
4. 私たちは医療の質の向上のために、自己研鑽と後進の育成に努めます。
5. 私たちは事故防止に努め、安全な医療と環境を提供します。

# 1 現状と課題 ～病院概要～

< 許可病床数 > 166床（一般病棟：100床、地域包括ケア病棟：46床、緩和ケア病棟：20床）

## < 診療科目 >

内科、消化器内科、心療内科、外科、消化器外科、肛門内科、肛門外科、大腸・肛門リハビリテーション科、泌尿器科、麻酔科

## < 主な機能 >

- ・【厚生労働省】 臨床研修病院
- ・【厚生労働省】 外国人患者受け入れ拠点病院
- ・【日本外科学会】 外科専門医制度修練施設
- ・【日本大腸肛門病学会】 認定施設
- ・【日本消化器内視鏡学会】 認定指導施設
- ・【日本消化管学会】 胃腸科認定指導施設
- ・【日本心身医学会】 認定医研修診療施設
- ・【一般社団法人日本総合健診医学会】 優良総合健診施設認定施設
- ・【熊本県】 県指定がん診療連携拠点病院
- ・【公益財団法人】 日本医療機能評価機構認定病院
- ・【日本消化器外科学会】 専門医修練施設
- ・【日本がん治療認定医機構】 認定研修施設
- ・【日本カプセル内視鏡学会】 認定指導施設
- ・【日本消化器がん検診学会】 認定指導施設
- ・【日本静脈経腸栄養学会】 NST稼働認定施設
- ・【日本臨床衛生検査技師会】 精度保証施設

## < その他 >

- ・へき地の医療：阿蘇市波野村・産山村（平成24年より熊本県へき地医療支援機構派遣依頼により開始）
- ・大腸がん検診：大腸がん撲滅を目的に、昭和58年より開始（下記データは平成27年度実績）

	高野病院	くるめ病院	宮崎事業所	合計
便潜血検査受診者数	96,324人	10,593人	24,801人	131,718人
内視鏡検診	3,828人	0人	774人	4,602人
大腸がん発見数	202人	16人	46人	264人
腺腫発見数	2,199人	192人	466人	2,857人

< 職員数 > 総数：368名（医師総数：25名＊うち非常勤医師：7名）＊平成31年1月1日現在

# 1 現状と課題 ～取得資格～

< 取得資格 > \*平成31年1月1日現在

学会名	認定医	専門医	指導医
【日本外科学会】	6名	12名	4名
【日本消化器外科学会】	9名	4名	4名
【日本大腸肛門病学会】		11名	10名
【日本がん治療認定医機構】	4名		
【日本内科学会】	3名	1名	
【日本消化器内視鏡学会】		6名	2名
【日本カプセル内視鏡学会】	1名		1名
【日本消化器病学会】		5名	
【日本消化管学会】	2名	3名	2名
【日本心身医学会】	1名		2名
【日本心療内科学会】	1名		
【日本心身医学会・日本心療内科学会】		1名	
【日本泌尿器科学会】	1名		
【日本消化器がん検診学会】	2名		1名
【日本人間ドック学会】	2名		
【日本麻酔学会】	1名		
【日本救急医学会】		1名	
【日本医師会認定産業医】	1名		
【検診マイエ* ライ読影認定医】	1名		
【日本総合健診医学会】			1名
【日本乳腺甲状腺超音波医学会】	1名		
【日本外科感染症学会】			

インфекションコントロールドクター（2名）

（21学会、認定医：36名、専門医：44名、指導医：27名）

# 1 現状と課題

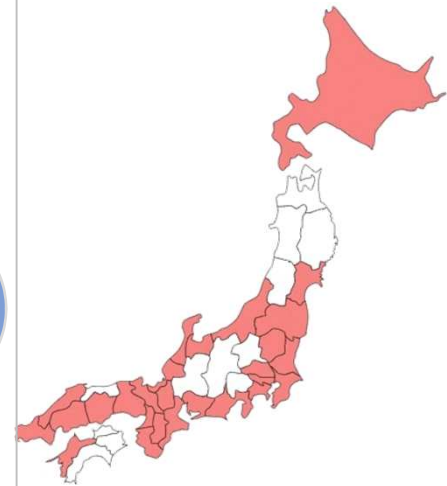
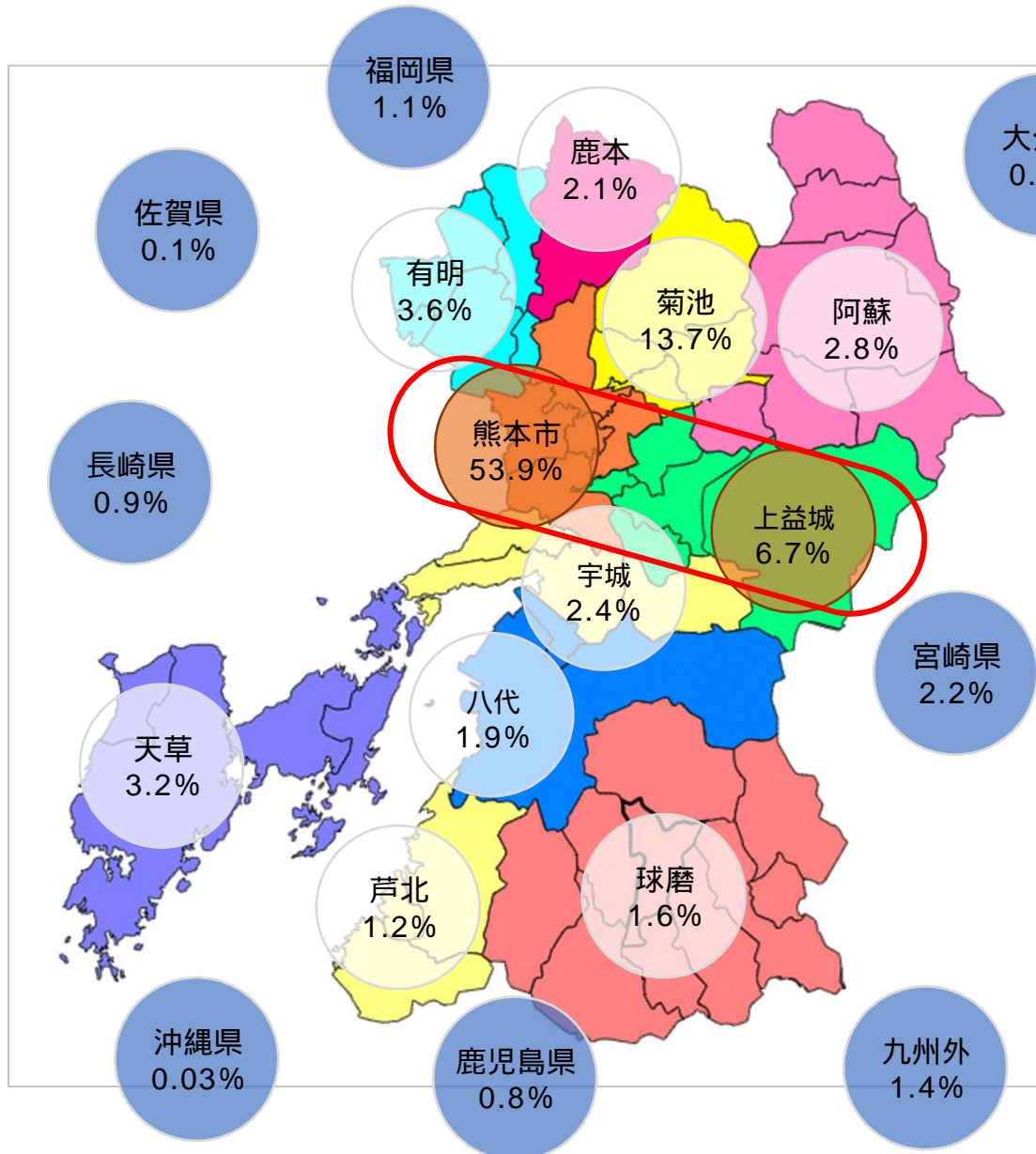
～診療実績 平成29年度外来新患数～

地域	人数	構成比
熊本市	3,866人	53.9%
上益城	479人	6.7%
菊池	981人	13.7%
有明	261人	3.6%
天草	228人	3.2%
阿蘇	200人	2.8%
宇城	173人	2.4%
鹿本	152人	2.1%
八代	134人	1.9%
球磨	117人	1.6%
芦北	85人	1.2%
熊本県合計	6,676人	93.0%

福岡県	76人	1.1%
長崎県	61人	0.9%
大分県	36人	0.5%
宮崎県	159人	2.2%
佐賀県	07人	0.1%
鹿児島県	57人	0.8%
沖縄県	02人	0.03%
九州圏合計	398人	5.5%

九州外	102人	1.4%
-----	------	------

総計	7,176人	100.0%
----	--------	--------



地域	人数
北海道	1
本州	99
四国	2

# 1 現状と課題 ～主な診療実績～

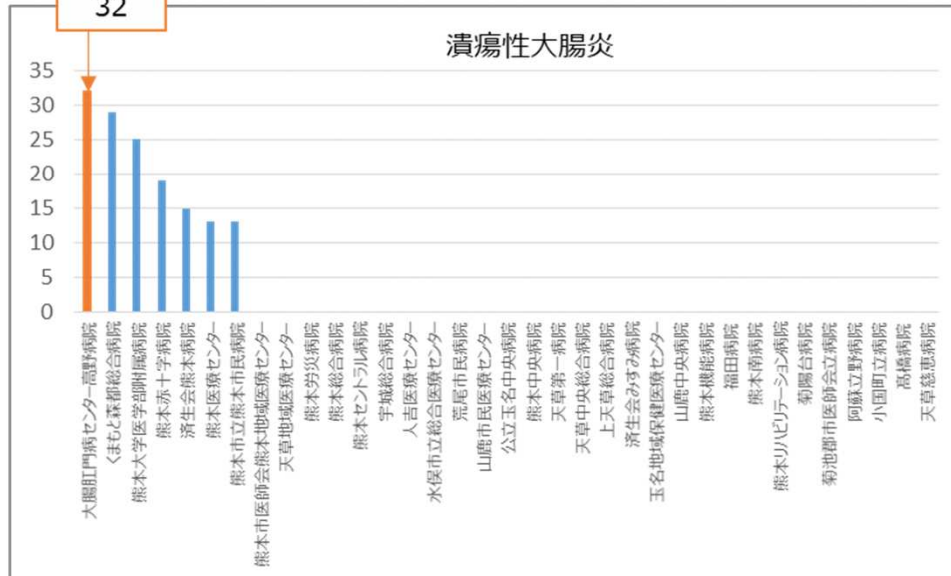
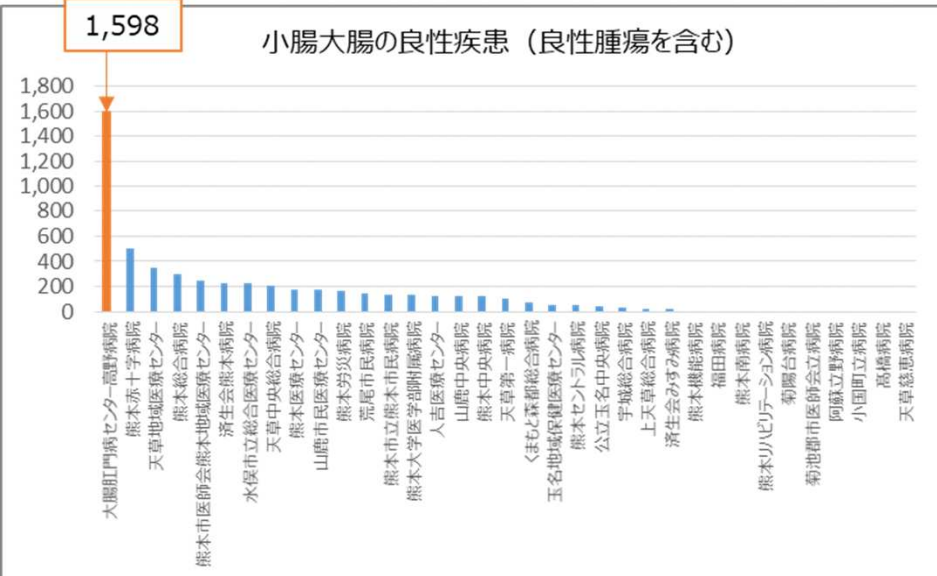
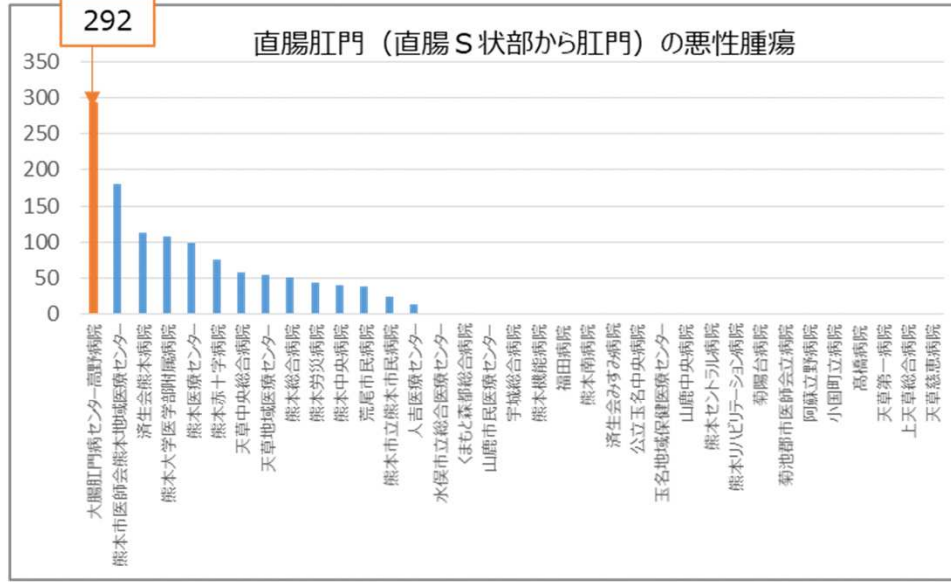
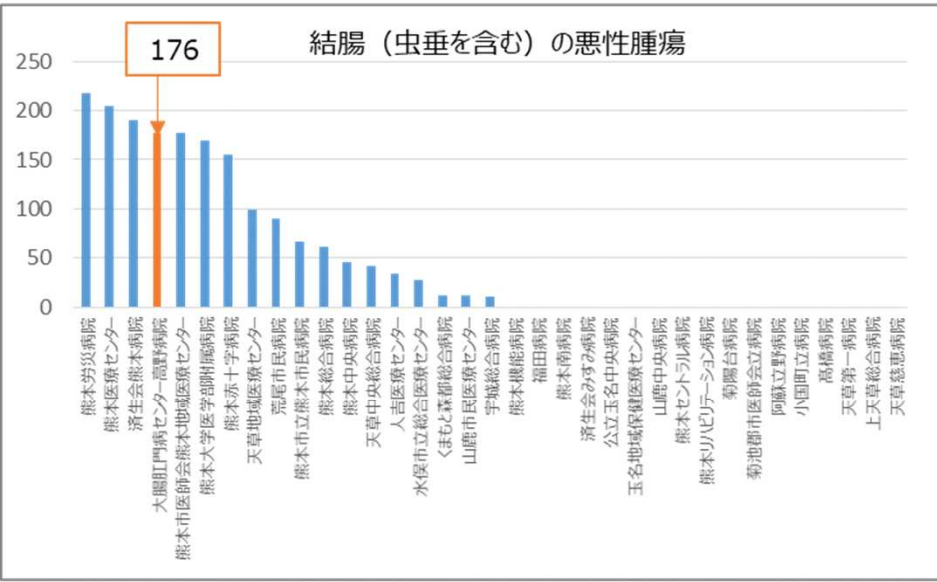
	27年度	28年度	29年度
新患者数	7,356人	6,605人	7,176人
外来患者延数	63,933人	58,834人	62,328人
入院患者延数	42,751人	36,499人	43,668人
平均在院日数	12.4日	12.3日	13.3日

～手術～			
結腸癌	57件	51件	52件
直腸癌 合計	74件	70件	86件
高位前方切除	15件	14件	13件
低位前方切除	21件	27件	34件
腹会陰式切断術	11件	13件	15件
括約筋間直腸切除術（ISR）	17件	9件	11件
ハルトマン手術	4件	5件	6件
その他	6件	2件	7件
痔核	1,103件	788件	856件
痔瘻（肛囲膿瘍含む）	488件	500件	543件
～内視鏡検査～			
上部消化管内視鏡検査（GFS）	2,369件	2,147件	2,277件
S状結腸内視鏡検査（SCS）	2,332件	2,220件	2,458件
下部消化管（全結腸）内視鏡検査（CFS）	10,286件	9,602件	9,278件
CTコログラフィ検査（CTC）	443件	468件	832件
～内視鏡的治療～			
ポリペクミー	2,673件	2,651件	2,760件
内視鏡的粘膜切除術（EMR）	147件	82件	129件
内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）	52件	50件	29件

# 1 現状と課題

～主な診療実績 \* 厚生労働省平成27年度DPC退院患者調査データより～

疾患別手術別集計\_MDC06-1

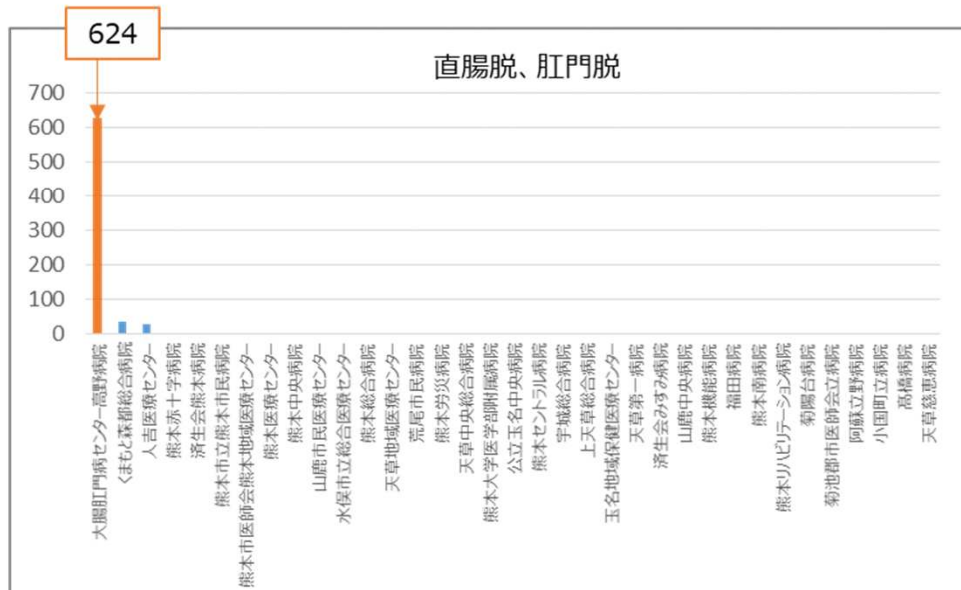
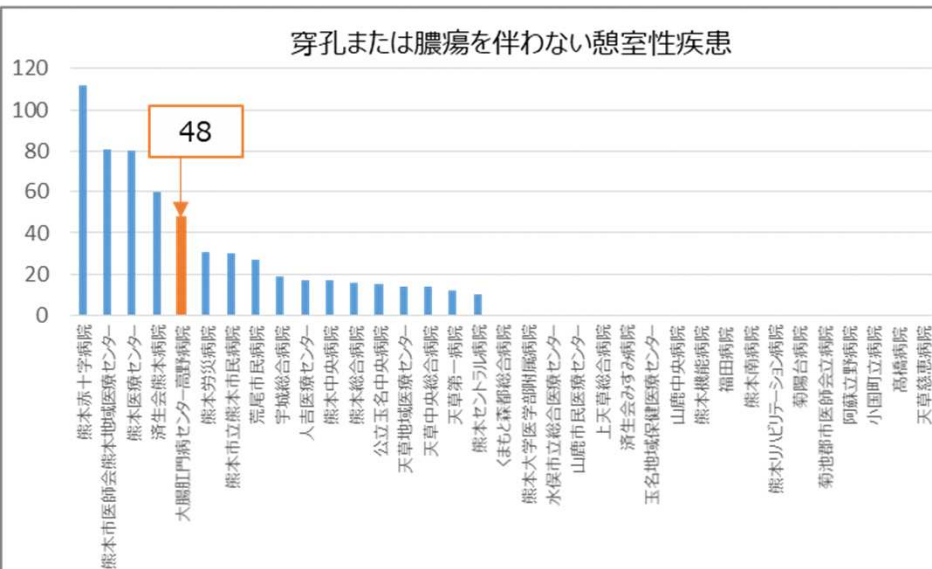
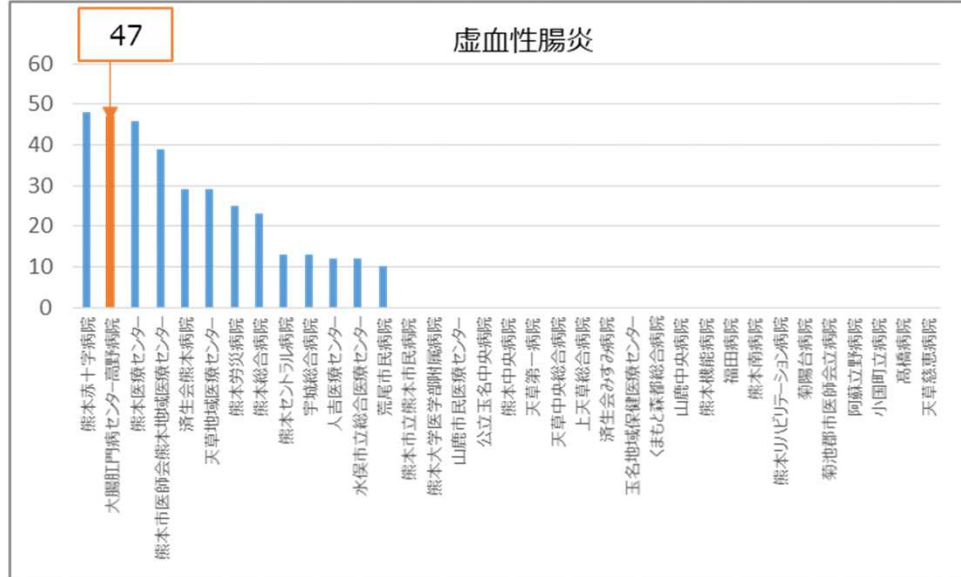
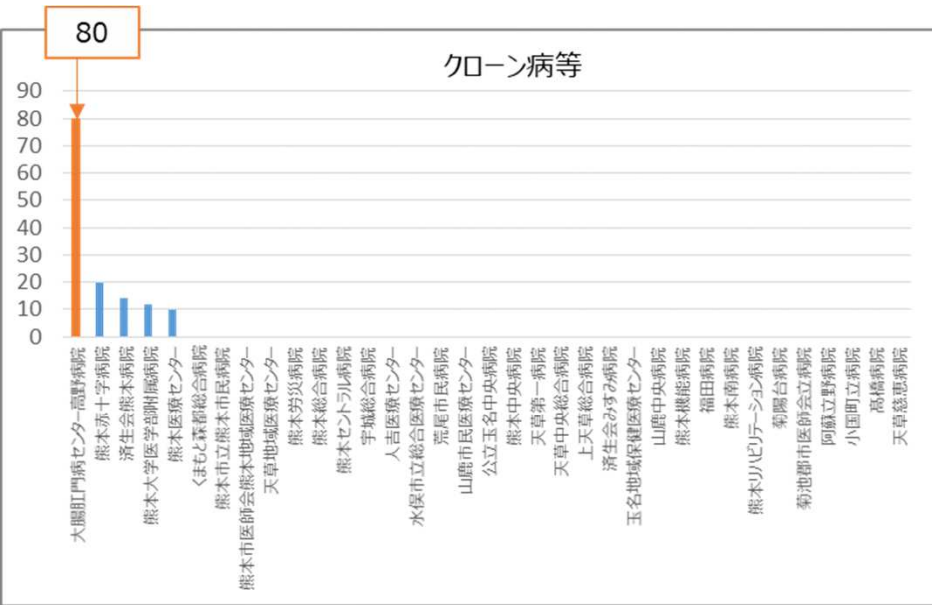




# 1 現状と課題

～主な診療実績 \* 厚生労働省平成27年度DPC退院患者調査データより～

疾患別手術別集計\_MDC06-1





# 1 現状と課題 ～急性期専門病院としての各科機能～

大腸と肛門の「急性期専門病院」として、最良の医療を地域の皆様にお届けするために整えた診療体制

## ・がん診療センター（消化器外科）

大腸がん撲滅のための検診による予防から、診断、治療、そして緩和ケアまで一貫した治療を提供。

## ・大腸肛門機能診療センター（大腸・肛門リハビリテーション科）

排便障害などの機能障害に関する医療を提供。そして大腸がん術後の肛門機能回復訓練も実施。

## ・炎症性腸疾患( IBD)センター（消化器内科）

難病である炎症性腸疾患( IBD)の患者さんに対して、社会復帰を目標に心身にわたってサポート。

## ・内視鏡センター（消化器内科・消化器外科）

年間内視鏡1万件を超える内視鏡検査と、3,000件に迫る治療を行い未然にがんを防ぐ。

・ **肛門科** : 痔核・裂肛から、治療が困難な難治性の痔瘻、  
そして炎症性腸疾患( IBD)に伴う肛門疾患まで対応。

・ **泌尿器科** : 直腸と同じ神経に支配され密接な関りを持つる泌尿器。  
排便障害の専門病院として泌尿器の病気にも対応。

・ **心療内科** : 排便障害は機能だけでなく、精神に問題がある可能性もありうるため、  
心の部分も含めて診るのが専門病院。



全ての科が連携し、大腸肛門の予防・診断・治療・フォローアップを具現しています。

# 1 現状と課題 ～大腸がんに対する取り組み～

## 【方針】

3D内視鏡システムを導入した侵襲の少ない腹腔鏡下手術や、肛門温存手術であるISR、肛門機能維持・改善のための大腸肛門機能診療センターによる肛門機能訓練など、術後の患者さんのQOL（生活の質）をできるだけ良好にするために努力しています。

## 【早期がん】

有茎性腫瘍：内視鏡的ポリープ切除術（ポリペクトミー）

無茎性腫瘍、平坦型腫瘍：内視鏡的粘膜切除術（EMR）、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）

## 【進行がん】

結腸がん：結腸切除術

直腸がん：高位前方切除術・低位前方切除術・超低位前方切除術・括約筋間直腸切除術（ISR）等

## 【特殊ながん】

遺伝性大腸（家族性大腸腺腫症（FAP）・リンチ症候群（遺伝性非ポリポーシス性大腸癌（HNPCC））

潰瘍性大腸炎・クローン病による炎症性発がん

遠隔転移（肝・肺・腹膜・遠隔リンパ節等）

痔瘻がん

局所再発（骨盤内）

# 1 現状と課題

## ～大腸がん撲滅を目的とした大腸がん検診～

1983年の開院から3年後より、大腸がんによる死亡率減少効果が世界的に認められた“便潜血検査”と、便潜血検査では発見が難しい大腸ポリープのために“S状結腸内視鏡検査”を組み合わせた方法で、大腸がんによる罹患・死亡減少に寄与するべく、検診活動を行っております。

	便潜血検査	内視鏡検査	大腸がん
1983年	191	191	2
1984年	3,059	3,058	14
1985年	7,691	7,689	39
1986年	12,814	12,025	45
1987年	16,207	11,706	59
1988年	18,072	12,134	66
1989年	35,790	17,843	101
1990年	52,410	21,606	100
1991年	60,941	23,625	120
1992年	67,664	20,074	166
1993年	70,081	18,425	171
1994年	75,092	18,715	140
1995年	78,640	16,874	151
1996年	79,485	14,033	147
1997年	75,002	10,945	118
1998年	75,816	8,779	154
1999年	71,488	9,393	168
2000年	70,849	10,061	148
2001年	72,357	8,753	144
2002年	72,524	8,036	121
2003年	70,910	7,666	106
2004年	68,088	6,669	113
2005年	70,658	6,214	122
2006年	72,429	6,988	81
2007年	74,420	6,034	118
2008年	71,338	5,912	97
2009年	74,950	5,713	92
2010年	80,127	4,397	101
2011年	89,846	4,214	139
2012年	83,740	3,972	168
2013年	92,013	3,986	179
2014年	87,873	3,688	162
2015年	96,324	3,828	202
2016年	88,664	3,405	137
2017年	90,043	3,395	51
合計	2,227,596	330,046	4,042



2017年、大腸がん発見数については途中経過

1989年より内視鏡を搭載した、大腸がん検診車にて内視鏡による検診も行っています。



地域の健康増進と医療発展のために、当院では様々な活動を行っています。

## 当院主催の患者会（事務局）

- 1、大江がんサロンみどり
- 2、大腸過敏症を学ぶ会
- 3、大腸憩室症を学ぶ会
- 4、排便障害を克服する会
- 5、高野会健康教室【IBD患者の会】
- 6、ぎんなん会【NIS患者の会】
- 7、日本オストミー協会熊本県支部

## 学会・研究会常設事務局

- 1、大腸肛門機能障害研究会
- 2、日本大腸肛門病学会九州支部
- 3、日本大腸検査学会九州支部
- 4、九州ストーマリハビリテーション研究会
- 5、熊本心身医学懇談会
- 6、西日本直腸肛門疾患懇談会
- 7、神経因性骨盤臓器症候群（NIS）研究会
- 8、熊本直腸肛門疾患懇談会

## 啓発活動（講演会等）

	回数	参加者数
平成27年度	102回	6,685人
平成28年度	83回	4,474人
平成29年度	101回	6,646人

### 【主な講演テーマ】

- ・ 大腸がんの予防と最新治療
- ・ どれだけ知っていますか大腸がんのこと
- ・ 女性の大腸がんについて
- ・ 大腸がん早期発見について
- ・ みんなに知って欲しい大腸がん検診の話
- ・ 便秘と大腸がんについて

## 大腸肛門領域における臨床の発展に貢献

	学会発表		論文発表	当院主催学会（当番世話人など）
	医局	メディカルスタッフ		
平成27年度	84	47	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第100回記念講演会 九州大腸肛門病懇談会（高野正博）</li> <li>・ 第84回大腸癌研究会（山田一隆）</li> <li>・ 第193回 大腸肛門病懇談会（辻順行）</li> <li>・ 第7回 九州・沖縄ジオン（ALTA）研究会（辻順行）</li> </ul>
平成28年度	98	50	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第58回全日本病院学会（山田一隆）</li> <li>・ JDDW2016 第54回 日本消化器がん検診学会大会（野崎良一）</li> <li>・ 第56回 日本心身医学会九州会（小林伸行）</li> </ul>
平成29年度	84	43	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第10回西日本直腸肛門疾患懇談会（辻順行）</li> <li>・ 第25回日本大腸検査学会九州支部（野崎良一）</li> </ul>

### ～第118回 日本外科学会 定期学術集会（2018年4月）～

1961年より57年ぶりに実施された「宿題報告」。宿題報告には通例、名だたる大学病院が連ねている中、「下部直腸癌に対するISRの有用性」に関するテーマで、民間病院で唯一当院が指名される。  
\* 英語化し、Surgery Today 49（4）,2019掲載予定

### ～大腸癌研究会 プロジェクト研究（2017年1月～）～

「肛門管癌の病態解明とStagingに関する研究」を主導している。  
病期分類に用いられる指標であるTNM分類が日本にまだなく、今後1年ほどかけて規約や治療のガイドラインを作成する。

### ～AI研究（2017年10月～）～ AMED：8K等高精細映像データ利活用研究事業

人口知能を用いた大腸T1がんのリンパ節転移予測ソフトウェアの開発。 \* 昭和大学消化器センター・都立駒込病院との共同研究

## 県指定がん診療連携拠点病院

当院は1982年に開院し、大腸肛門領域で地域に貢献することを目的として  
試行錯誤を繰り返しながら地域医療の一翼を担ってきた「大腸肛門の専門病院」です。

- ・ 大腸がんの撲滅（予防から診断、治療、そして終末期まで切れ目のないがん診療）
- ・ 潰瘍性大腸炎やクローン病といった指定難病疾患
- ・ 深部痔瘻などの難治性疾患
- ・ 便秘や便失禁などへ排便機能障害の疾患

	27年度	28年度	29年度
～手術～			
直腸癌	74件	70件	86件
結腸癌	57件	51件	52件
～内視鏡検査～			
上部消化管内視鏡検査（GFS）	2,369件	2,147件	2,277件
S状結腸内視鏡検査（SCS）	2,332件	2,220件	2,458件
下部消化管（全結腸）内視鏡検査（CFS）	10,286件	9,602件	9,278件
CTコログラフィ検査（CTC）	443件	468件	832件
～内視鏡的治療～			
ポリペクトミー	2,673件	2,651件	2,760件
内視鏡的粘膜切除術（EMR）	147件	82件	129件
内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）	52件	50件	29件

### 「県指定がん診療連携拠点病院」として質の高い医療を提供し続けます

#### 予防

- ・ 便潜血検査と、便潜血検査とS状結腸内視鏡検査を組み合わせた方法で大腸がんによる罹患・死亡減少に寄与する。
- ・ 合志市モデル（大腸がん検診受診率 25% → 44% 2年目で達成）をベースとした当該医療圏への展開（本年4年目で50%達成予定）。

#### 診療

- ・ 下部直腸癌に関する括約筋間切除術（ISR）や骨盤内臓全摘術（TPE, TPES）などの最先端・高難度治療の提供を行う。
- ・ 自然肛門温存手術（ISR, ESR）などの高難度治療の提供を行う。

#### 地域包括ケア病棟

- ・ 地域と密接に連携をとり、在宅への移行、在宅や他医療機関からの受け入れをスムーズに行う。
- ・ 他科と連携し、排便コントロール、精神症状などさまざまな症状に対応。

#### 緩和ケア病棟

- ・ 「痛みの症状緩和」や「ホスピス」だけでなく、ご家族のための「レスパイトケア」にも対応。
- ・ 終末期に限らず、がん治療中の副作用等様々な症状の緩和をサポートできる体制を整備しています。

#### 啓発

- ・ がんの予防と最新の治療について詳細な情報を提供し、罹患・死亡減少に寄与する。

#### 臨床研究

- ・ 先進的医療分野での臨床研究において確実に結果を出し、医療の質向上につなげていく。



### 3 具体的な計画 (1) 今後提供する医療機能に関する事項

#### 【4 機能ごとの病床のあり方 その1】

病床機能	2018年(平成30年)	2025年(平成37年)
高度急性期	0	0
急性期	166床	166床
回復期	0	0
慢性期	0	0
その他	0	0
合計	0	0

#### 【4 機能ごとの病床のあり方 その2】

大腸肛門及びその関連分野における社会貢献のために、大腸肛門の専門病院として診療しています。

- 1981.12.16 熊本市(中央区)帯山に開設ベッド数70床で開設
- 1982.10.25 医療法人社団高野会の設立
- 1983.04.01 特定医療法人社団高野会の設立認可
- 1983.11.14 大腸肛門病センター設置承認
- 1987.05.19 166床に増床
- 1993.11.08 消化器内科外来開設
- 1996.04.01 泌尿器科開設
- 1996.08.01 心療内科開設
- 2004.11.11 女性専用外来稼働
- 2008.04.07 天草市立牛深市民病院へ医師派遣開始
- 2011.11.07 熊本県指定がん診療連携拠点病院の指定
- 2012.04.01 熊本県へき地医療支援機構派遣依頼により医師派遣開始
- 2014.04.01 社会医療法人取得
- 2015.03.06 熊本県救急医療機関認定
- 2016.02.18 病院名変更(変更後:大腸肛門病センター高野病院)
- 2016.08.01 地域包括ケア病棟入院料2 算定開始
- 2017.08.01 熊本市中央区大江に新築移転
- 2017.08.01 地域包括ケア病棟入院料1 算定開始
- 2017.10.01 緩和ケア病棟入院料 算定開始
- 2018.12.27 外国人患者受け入れ拠点病院

当院は一貫して「大腸肛門の専門病院」を目指し、今後も診療機能の維持発展を行ってまいります。

### 3 具体的な計画 (1) 今後提供する医療機能に関する事項

#### 【 診療科の見直し】

	現時点 (2019年1月)	2025年(平成37年)	理由・方策
維持	内科、消化器内科 心療内科 外科、消化器外科 肛門内科、肛門外科 大腸・肛門リハビリテーション科 泌尿器科 麻酔科	同左  (10診療科)	大腸肛門の専門病院としての役割を果たすため、現状の診療科を維持向上させる
新設	—	—	—
廃止	—	—	—
変更・統合	—	—	—

### 3 具体的な計画 (2) 数値目標

【全体】

	2018年10月 時点	2025年 (平成37年)
病床稼働率	85.9%	90%以上
紹介率	15.3%	30%以上
逆紹介率	8.0%	30%以上

【大腸がん手術件数に占める紹介由来件数】

年度	大腸癌手術数	紹介由来手術数 (割合)
H28年度	116件	55件 (47.4%)
H29年度	140件	55件 (39.3%)
H30年度 (12月まで)	105件	45件 (46.9%)

- 1、急性期専門病院として高度な医療提供による診療の拡大・充実
- 2、熊本県内の医療機関はもとより全国との医療連携の促進
- 3、患者支援センターの推進や、外国人患者受入拠点病院認証による患者受入窓口の拡充
- 4、熊本県がん診療連携拠点病院として、予防から緩和までの継続的な医療の提供

～地域住民との共生を目標に、2017年8月に新病院にて診療開始～  
〔くまもとアートポリス〕プロジェクトに参加した県内初の医療施設として、  
地域住民の方々へ貢献してまいります。



## ・熊本地震を教訓



安全性と医療機能の維持を目的に、病院では全国初の免震システム（球面すべり支承）を導入。

## ・開かれた病院



文教地区である大江地区の憩いの場としても機能する病院を目指し、正面玄関に庭園を設置。

## ・個室的多床病室



大部屋であっても、1人1つの窓がある様に設計。

いつでも太陽の日差しを浴び、外部の風を感じて頂ける様になっている。